



第141号 ふれあいの里
〒632-0001 天理市中之庄町470 TEL.0743-65-1771(代)

発行責任者: 鉄村 信治
編集: 奈良東病院グループ
広報誌編集担当 <https://www.fureai-net.com/>



CONTENTS

- 1頁 新年を迎えてのご挨拶
～医療・介護同時改定を控える2024年の動向～
- 2頁 天理市様四之坪自治会様 健康増進活動2023
・HAYAMA International Language School
令和5年度10月生 入学式
- 3頁 たけのこ保育園 たのしい秋の行事
・奈良東病院 薬剤部について
- 4頁 奈良東病院の売店がリニューアルオープンしました
・ふれあいの里 イルミネーション2023



医療法人健和会
理事長 鉄村 信治

状況です。一方、国内では阪神タイガースが38年ぶりに日本一となり、岡田監督の「アレ」が流行語大賞に選出されるなど、特に関西人にとって大変うれしいニュースもありました。本年が平和で穏やかな年になる事を祈念しております。

さて、新型コロナウイルス感染症が5類扱いとなり、医療や介護の現場においても以前と比べ柔軟に対応できる様となりました。引き続き感染対策に留意しつつも、平時の運営体制に戻りつつあります。

このような中、本年は我々にとって大変大きな関心事である診療報酬と介護報酬改定が行われます。今回の改定は、高齢者数がピークを迎える2040年に向け様々な制度が決まる大きな節目となる事が予想されます。現時点で明らかになっている事をいくつか紹介します。

診療報酬改定では全世代型社会保障の実現や医療DXの



健和会理念

私達は、医療がサービス業であること
を認識し、以下の目標を掲げる。

- 1・患者さん中心の医療・看護・介護
- 2・地域社会への貢献
- 3・研究心と向上心を持つ
- 4・和を尊ぶ

新年を迎えてのご挨拶

～医療・介護同時改定を控える2024年の動向～

謹賀
新年

推進、社会保障制度の安定性・持続可能性の確保といった基本方針が示されました。中でも最優先事項とされている事は、物価高騰・賃金上昇への対応となります。医療や介護分野におけるサービスは公定価格であり、他の産業のように価格転嫁ができないため、この点についてはぜひとも政府には現場の実情を踏まえた改定としていただくよう期待しております。

また、人材確保への対応も大変重要な課題として取り上げられています。近年、医療や介護分野の人材不足が慢性的に続いておりますが、昨年、大変ショッキングなデータが明らかになりました。医療・福祉分野の「入職超過率」が初めてマイナスとなった、つまり新たに入職される方より離職される方が多くなったという事です。県内でも人材不足によりサービスを縮小している事業者が始めています。このような深刻な状況下で、当グループが先駆的に行ってきました海外人材への取り組みは、厚労省においても高く評価されております。養成校の学生や卒業生は、我々の事業所のみならず、グループ以外の多くの医療機関や介護施設でも大変活躍していただいており、県内の介護サービスを維持するために貢献しています。

もう一点、コロナ禍において、介護施設の入所者様の状態が悪化した際、医療機関との連携がうまくいかなかった事が全国的に大変問題になりました。この事を踏まえ、今改定では医療・介護連携を推進する方針が示されています。この点についても開設当初より医療・介護を一体的に提供してきた我々の取り組みは、時代に合ったモデルであると考えています。

コロナ対策だけに注力する時代が終わりつつある中、地域医療・介護に貢献していくという原点に帰り、また、新しい事にチャレンジする時期にあります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

健和会基本方針

- 1・私たちふれあいの里の職員はいつも患者さんの意思を尊重し権利を遵守して、患者さん中心の医療、看護、介護を実践します。患者さんのADL(日常生活動作)改善とQOL(生活の質)向上のため、積極的にリハビリテーションに取り組みます。
- 2・私たちは、他の医療機関や地域の人々と連携して地域社会に貢献し、社会に開かれた施設を目指します。
- 3・私たちは患者さんから学ぶという初心を忘れず、より良い医療、看護、介護を提供できるように常に研鑽し探究する精神を持ち続けます。
- 4・私たちは力を合わせてチーム医療の遂行のために努力します。

天理市櫟本町市営四之坪自治会様 健康増進活動2023

天理市北部地域包括支援センターでは、本来の相談支援業務に加え、奈良東病院グループの掲げる理念の一つである「地域社会への貢献」として、様々な形で住民のみなさまからの依頼に対応させていただいている。

地域住民の方々のフレイル予防のために、住民主体で取り組まれているサロン活動への支援もその一つで、2015年12月にサロン活動を開始されて以来、奈良東病院グループ内の多くの方々にもご協力をいただきながら、櫟本・山の辺校区内でのべ340回開催されています。

2022年に引き続き、熱心にサロン活動や通いの場をされている櫟本町市営四之坪の自治会長・自治会員より、運動や地域の集まりの機会として、今年も秋の木の実を集め、奈良市内の【鹿の愛護会】へ寄付としてお届けすることで、「自治会として住民同士が集い集まる場を持ち続け、健康づくりに繋げたい」とのご相談がありました。



今年は、天理市北保育所が、2024年度に市営住宅前の広場に移転・工事に着工する関係で、市営広場に植えられていたナツメ等の木々を伐採・撤去することになったそうです。木々の伐採に際して、ナツメや木の実拾いをし、実の取り外しや洗浄することが住民の方々の集まる機会になるとのことで、地域の方でドングリとナツメの実を集められました。ナツメの実は数日置くと傷んでしまうため、「できるだけ早く持って行きたいが、足の具合が悪い高齢者が多く、今年は北部地域包括支援センターで寄贈しに行ってほしい」とのご要望がありました。自治会の住民の方々からドングリを預かり、鹿の愛護会のどんぐりBOXに寄贈させていただきました。

「工事のため、木々が無くなるのは寂しいが、木の実拾いの散歩は、皆が集まり話す機会にもなるし、市や北部地域包括支援センターが地域の活動に力を貸してくれてありがたい」と、とても喜んでおられました。

これからも、地域住民の方々の声に耳を傾け、地域と共に歩み続ける活動に取り組んでまいります。

(天理市北部地域包括支援センター 保健師 木村 瑞)

HAYAMA International Language School 令和5年度10月生 入学式

令和5年10月16日(月)に、HAYAMA International Language Schoolの令和5年度10月生の入学式が挙行されました。

入学生は、タイ国21名、ベトナム国1名、フィリピン国2名、インドネシア国9名、ミャンマー国73名の合計、106名です。それぞれの国の民族衣装を着て参加した留学生も多く、国際色が大変豊かな入学式となりました。

鉄村俊夫理事長からは、「介護福祉は、日本発祥で世界初の制度です。皆さんの今後の活躍に期待します。」と祝辞をいただきました。続いて、私からは校長として、「介護福祉士になるということは、まさに、人を支える人間になるということで、大変やり甲斐のある仕事です。」と、介護福祉士を目指す入学生に対しての激励の式辞を述べました。

入学生を代表して、インドネシア人のダヴァ・バハルディン ユスупさんが、「日本に来て、正直、まだ実感がありません。この学校での時間を楽しんで、熱心に勉強するように努力します。」と決意を述べました。終わりに、在校生を代表して、タイ人のイムウライ ジャールウイットさんが「入学おめでとうございます。ここは、勉強するのにはとても環境が良いところです。もし、わからないところがあったら、なんでも聞いてください。」と入学生にメッセージ

を送りました。

今回の入学式はマスコミの取材もあり、「NHK奈良」の「ならナビ」のコーナーで入学式の様子が放映されました。また、「奈良新聞」には、入学式の記事が掲載されました。NHKのインタビュー取材に対し、ミャンマ一人の入学生のイタンダー ヌエさんは、「私は、お年寄りの世話をすることに関心を持っていたので、介護は私に合う仕事だと思い、日本に来て勉強しようと思いました。」と答えており、介護福祉に積極的にかかわろうとする意欲が強く感じられました。

今回、来日した留学生は、今後、1年6か月、日本語学校で日本語を学び、その後は、介護福祉士養成学校で2年間、介護福祉士の国家資格の取得を目指しながら介護の学習をし、卒業後は、介護施設・事業所で勤務することになっています。

(HAYAMA International Language School 校長 小谷 勝彦)



（写真）HAYAMA International Language School 校長 小谷 勝彦



たけのこ保育園 たのしい秋の行事

今年の秋は、コロナが第5類になったことにより、今まで出来なかった楽しい行事を企画・実施いたしましたので、ご紹介いたします。

☆9月はデイキャンプを行いました。

園庭に園児と一緒にテントを張り、ふれあいの里内をまわってシールラリー。

お昼ご飯は、病院・総務の職員さんがカレーを作ってくれました。テントの中で食べるカレーは格別です。とてもおいしかったです。

☆10月はスポーツDAYとハロウィンを開催。

たけのこ保育園で初めて保護者さんにも参加してもらい、スポーツDAY(運動会)を開催しました。運動用具は、吐山インターナショナルスクールよりお借りし、1歳児~年長児まで参加しました。たくさんの方に見に来いただき、おうちの方の声援で子どもたちは大張り切り。初めての環境に少し不安になってしまったこともありましたが、一生懸命頑張り、楽しんでいる姿を見せてくださいました。

ハロウィンでは、3.4.5歳児のくまぐみが、スポーツDAYで踊ったパンプキンの衣装を着け、2歳児こあらぐみは、お菓子を入れる袋を持ってふれあいの里内をお散歩しました。施設を3ヵ所ま



わり、「トリック オア トリート おかしきくれなきやいたずらしちゃうぞ!」と言って、利用者さん・入居者さんからお菓子をたくさんいただきました。短時間での世代間交流でしたが、喜んでいただき、子ども達も楽しんで良い経験になりました。

☆11月は遠足にいきました。

1歳児うさぎぐみは、園庭で秋探し。保育士がどんぐりや落ち葉を取ってきて準備。お外でおやつを食べて遠足気分を味わいました。

2歳児こあらぐみは、当日が雨だったので、予定を変更して室内遊園地へ。大きなボールプールアスレチックやままごとなどでたくさん遊び、現地でお弁当も食べました。

3.4.5歳児くまぐみは、橿原市昆虫館と香久山公園へ行きました。虫をモチーフにした遊具で思いっきり身体を動かし、いろんな昆虫を見たり、虫のにおいをかいだりして、生き物について学ぶことが出来ました。お昼、保護者の方がつくってくれたお弁当に子どもたちは感激していました。

今後も、グループ内での世代間交流ができる機会を増やし、子ども達の「主体的で対話的な深い学び」が実践できる行事を企画・運営していきます。

(たけのこ保育園 園長 峯 幸司)



奈良東病院 薬剤部について

奈良東病院薬剤部は「あせらず、あわてず、あきらめず、調剤過誤を限りなくゼロに」という目標を初代薬剤部長より受け継ぎ、どんなに業務が多忙であっても最後まで集中力を切らさないよう心掛けています。

ご存じの通り、薬の飲み間違いは非常に危険です。これが糖尿病の薬や心臓の薬などであれば尚更です。薬の調剤を間違わないようにすることは当然ですが、患者様や家族様が飲み間違えないようにする為、入院患者様だけでなく外来患者様も希望に応じて飲み薬を機械でパックするなどして、より安全な薬剤治療を受けていただけるように工夫しています。

奈良東病院グループの介護老人保健施設「ならふくじゅ荘」においても、自宅に帰られる利用者様やその家族様に帰宅後も

安心していただけるよう、当薬剤部の薬剤師がお薬の説明を行っています。

また、公開していませんが当薬剤部には「スポーツファーマシスト」の資格を持つ薬剤師がいます。近年では小中学生選手でも



アンチドーピングを気にされることがあります。ただの風邪薬でも成分によっては違反となり、「フェア」でないことが悪い事だと理解されているからです。サプリメントも含めてどのような薬(成分)が服用禁止である、そして競技開始の何日前・何時間前から禁止なのかなど、気になる事があればご相談下さい。

薬剤師の仕事は調剤だけで終わるのではなく、医師や看護師など多職種と連携してこそ患者様の安心・安全に繋がると考えます。これからも奈良東病院グループの一員であるという意識のもと、日々の研鑽を怠らず業務に励みたいと思います。

(奈良東病院 薬剤部 木口 智明)



奈良東病院の売店がリニューアルオープンしました

12月4日(月)に奈良東病院の売店がリニューアルオープンしました。正面玄関を入ってすぐ右手、もともと売店があった場所ですが、その約15m²という超狭小売場面積に、約160アイテム、合計商品数約1,900点という豊富な品揃えを誇ります。

オープンまでに売店運営を担う委託先会社様と度重なる打合せを経てオープンしたこの売店ですが、1番の特徴は、「セルフレジの導入」です。このことにより、24時間営業が可能となり、また人件費を抑えることができるのでコンビニエンスストア並みの価格設定が可能となりました。しかし欠点もあります。防犯上の問題と、硬貨詰まりなどレジにトラブルがあった場合即時に対応がで



きないので、キャッシュレスレジにせざるをえませんでした。このことは私にとって苦渋の選択でしたが、売店を存続させるためには仕方のない選択でした。

開院から35年を経た歴史あるこの奈良東病院内に、「新しいものを作る」仕事に関わることができ、私にとってはとてもワクワクする仕事でした。そしてこれからが本当の勝負です。リニューアルした新売店も売り上げが少ないと撤退される可能性もあります。また運営会社様によると、この売店は病院内における狭小スペースでの売店のあり方のモデルケース第1号店舗だそうです。このモデルがうまくいけば、弊院と同じように「十分なスペースを確保できない院内売店運営」に悩みを持つ病院さんにも、売店設置または運営改善の可能性が生じます。患者様家族様の利便性向上と職員の福利厚生のため院内売店は必須のアイテムです。今後も運営会社様と一緒に知恵をしぼってお客様の購買意欲を刺激できるよう情報を発信していきたいと思います。皆様からも遠慮なくお声をいただければ幸いです。

どうか生まれ変わった奈良東病院内売店をよろしくお願いします。

(奈良東病院 事務次長 森本 真司)

ふれあいの里イルミネーション2023

今年も、輝くイルミネーションを通してやすらぎや癒しをお届けできるよう、ふれあいの里イルミネーション2023を点灯いたしました。一段と冷え込む季節となりましたが、皆さまは足を止め、夜空に輝く光景を眺めながら、思い思いの時間を過ごされていました。

今年は、新たにバスロータリー横に光り輝くスパイラルボールを設置いたしました。すべてのイルミネーションや置物には、環境や節電に対応したLED球を使用しています。

設置においては、新しいアイデアを課内で話し合い、毎年同じ手法を繰り返すだけではなく、配置に改良を重ね、昨年よりも美し



く見ていただけるように工夫をいたしました。

また、屋間も美しく保つことができるよう、配線やLED球の配置も重要で、低木植栽や人の見えない場所に隠すなどの配慮をいたしました。

設置作業中には、皆さまから「今年もこの季節がやって来たね、楽しみにしているよ。」などのお声を掛けてください、点灯を心待ちにしてくださいました。

毎年、ふれあいの里イルミネーションをたくさんの方々に楽しんでいただけるよう取り組んで参ります。

(奈良東病院 サプライ・サービス課 西内 由敬)



編集後記

新年明けましておめでとうございます。令和6年、新たな1年の始まりを迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年の12月前半は非常に暖かく、25度以上の夏日を記録したところもあり、最高気温が12月の観測史上最高を更新したようです。その後は一気に冬型の気圧配置となり、気温が急降下しました。北日本では広い範囲で雪が降り、寒暖の差が大きい1ヶ月となりました。

さて、令和5年から令和6年にかけては新型コロナウイルス感染症が2類から5類になって初めて迎える年末年始となりました。またここ数年、あまり耳にしなかったインフルエンザへの感染者が増え、小中学校では学級閉鎖となったところもあったようです。

以前に比べ、耳にする機会が少なくなった新型コロナウイルス感染症ですが、決して消滅したわけではありません。「手洗い」「うがい」「手指消毒」を行い、感染対策を行っていただければと思います。

最後になりましたが、令和6年が皆様にとってより良い1年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

(広報誌編集担当 橋本 重之)

